

小児のブリナツモマブ投与中の在宅移行を可能にした要因の検討

1. 研究の目的

小児のブリナツモマブ投与中の在宅移行を可能にした要因を明らかにして、在宅移行に向けたよりよい看護支援を検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2019年1月～2024年1月までにブリナツモマブ投与中に在宅移行された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月
- ③ 研究方法：ブリナツモマブ投与中の在宅移行支援の実態を電子カルテの診療記録と看護記録から収集し整理してまとめる。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテの診療記録と看護記録にある対象患者さんの年齢、疾患、ブリナツモマブ投与全過程の中で生じた副作用とそのときの看護・トラブルやアクシデントへの対応・在宅に向けた療養生活を送る上での看護支援に関する情報です。

※ 患者さんの氏名など本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は、国内外で小児がんに関連する学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 8階西病棟 後藤清香

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3851）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 8階西病棟 看護師 後藤清香